

第2回 みつば学級開催

- 1 日 時 令和元年6月13日(木)
午前9時30分～11時
- 2 場 所 輪之内町文化会館 リトルホール
- 3 テーマ 「大垣城のエピソード(講話)」
元大垣市史編纂室長
清水 進 氏

◇ 参加者
合計 21名

◇ 内 容
「大垣城のエピソード」

- 大垣城の石垣は割田城の石垣が用いられた。
割田城が廃城になり、それを利用した。
赤坂の石灰岩を使った。どうしても隙間が出来る。
- 赤坂石は杭瀬川・船町川を経て船で大垣城に運ばれた。
大八車は大人8人分の仕事ができるが、当時は大八車はなかった。
当時は船で運んだ。杭瀬川を下り、新しく川を掘り(船町川)、水門川を経て大垣城に運ばれた。
- 大垣城の石垣は笑い積みといわれている。
巨石の鏡石を中央に据え、周りを小石で囲んだ積み方。笑っているようにみえる。
- 藩主の下屋敷が御鳥屋敷と呼ばれた。
豊臣秀次は半年、大垣城にいた。
- 大垣城築城の際に人柱が埋められた。
- 大垣城二の丸月見楼下で鶉飼いが行われた。
赤坂の御宿泊所があった。将軍の上洛の時に使う。
その時、岐阜より鶉匠を招き大垣城の内堀で鶉飼いを行った。
- 大垣城藩主戸田氏は家宝を大切に守り伝えた。
戸田氏光のあらはの三字を縫いたる指物。
戸田氏鉄は金の半月の馬駿。
- 大垣城には七口之門の他に数多くの門があった。
七つの入り口があった。柳口、京口、南口、大手、小橋口、龍ノ口、清水口
- 大垣城辰之門は龍の口である。

